

地域就労支援事業の認識・共有化を図る —2003年度雇用問題研究会開催—

2003年度雇用問題研究会は、去る10月7日・15日・16日・21日の4日間(プログラムは同一)、大阪人権博物館(リバティおおさか)において開催し、合計347会員の出席をいただきました(ご欠席になった会員の皆様には11月20日付で「資料」送付)。

今年度は、当センターがC-STEPとして新たにスタートして2年目、また事業との関わりで最も重要となる大阪府・各市町村地域就労支援事業も2年目を迎えています。本年度の雇用問題研究会は、昨今の雇用情勢に鑑み、双方の事業が対象とする就職困難者の現状及び行政施策に関して改めて認識の共有化を図るとともに、C-STEP(全会員の更なる連携をめざし、担当行政セクションの協力をいただき開催しました。

大阪府総務部雇用課より、今年度から導入した公共性評価(福祉・環境への配慮)を中心とした人札に関わる「大阪府総合評価制度」について、府としての考え方と就職困難者に対する就労支援についてご説明を頂きました。

大阪労働局からは、国の若年者に対する自立就労支援策を「若者自立挑戦プラン」に基づきご説明いただきました。また、障害者の雇用対策を「新障害者プラン」に基づく雇用



促進(15~19年度)を中心に説明を頂きました。大阪府健康福祉部家庭支援課からは、母子家庭等の現状と「母子及び寡婦福祉法の部を改正する法律」について、(1)子育て・生活支援、(2)就労支援、(3)養育費の確保、(4)経済的支援、(5)国及び地方公共団体における総合的な自立支援体制の整備、の観点からの概要とそれを受けての「大阪府母子家庭等就業・自立支援センター事業」のご説明を頂きました。

これらの内容は、国・府・市町村の現在の動き、情報であり、参加者から好評を頂きました。また、国をはじめ行政施策とリンクしてC-STEP事業や地域就労支援事業での会員の関わり、社会貢献について課題整理がなされました。

C-STEPの人材養成事業は、市町村における各地域就労支援センターの相談者に対する就労支援サポートプランの二環として行っており、この事業も府内の全ての地域就労支援センターへ周知しました。

その結果、5名の参加者があり、積水ハウスの会社の沿革、業務内容、これからの事業プランなどの説明を受けました。また、ハウスメーカーという業界全体の説明など参加者にとっては、ほとんど初めて聞く話だったので興味深い内容となりました。それから、積水ハウスの庶務職の仕事についての役割、重要性について説明があり、実際庶務の人が働いている職場を見学しました。参加者は、実際の庶務職の仕事を見て、自分に合っているか

どうか大いに参考になったと思います。最後に積水ハウスの「求める人材」ということで、庶務職の求人情報の話や求める人物像などの説明を頂きました。

第4回は、日本システムディベロップメント株式会社の協力による「庶務職の就業体験会」を11月14日に実施しました。4名の参加があり、日本システムディベロップの会社概要、事業内容(システムエンジニア)等のレクチャーを受けた後、庶務

の仕事を見学しました。その後、参加者と企業担当者の方と地域就労支援コーディネーターの3者で座談会を行いました。内容は、日本システムディベロップの庶務職の仕事内容や自分のやりたいこと等、お茶を飲みながら非常に和気あたたかい議論が進みました。最後にこの事業の感想などを述べて終了となりました。

今回は、「庶務職」の体験事業という事で中高年齢者を対象とし実施しました。参加者は、「今までこんな大きな会社に入ったのは初めて」といった感想がほとんどでした。C-STEPとしては、地域就労支援事業のサポート事業として、見てわかり、体感できる「就業体験会」を今後より多く実施していきます。そのためには、会員企業の方々のご協力を是非ともお願いいたします。事業協力・実施につきましては、C-STEP事務局までご連絡、ご相談下さい。

今年度のC-STEPの人材養成事業の第3回は、積水ハウス株式会社のご協力により、「庶務職の就業体験会」を10月27日に実施しました。

第3回は、日本システムディベロップメント株式会社の協力による「庶務職の就業体験会」を11月14日に実施しました。4名の参加があり、日本システムディベロップの会社概要、事業内容(システムエンジニア)等のレクチャーを受けた後、庶務

の仕事を見学しました。その後、参加者と企業担当者の方と地域就労支援コーディネーターの3者で座談会を行いました。内容は、日本システムディベロップの庶務職の仕事内容や自分のやりたいこと等、お茶を飲みながら非常に和気あたたかい議論が進みました。最後にこの事業の感想などを述べて終了となりました。

今回は、「庶務職」の体験事業という事で中高年齢者を対象とし実施しました。参加者は、「今までこんな大きな会社に入ったのは初めて」といった感想がほとんどでした。C-STEPとしては、地域就労支援事業のサポート事業として、見てわかり、体感できる「就業体験会」を今後より多く実施していきます。そのためには、会員企業の方々のご協力を是非ともお願いいたします。事業協力・実施につきましては、C-STEP事務局までご連絡、ご相談下さい。

第3回 積水ハウス株式会社
第4回 日本システムディベロップメント株式会社

情報提示企業名	求人情報No.	職種	マッチング状況
イトキン株式会社	007	販売補助	
稲畑産業株式会社	011	軽作業	充足
大倉建設株式会社	005	経理・一般事務	
近畿日本鉄道株式会社	010	用務係	充足
株式会社クボタ	003	清掃	充足
株式会社栗本鐵工所	002	警備	充足
イオン株式会社	013	販売	
積水ハウス株式会社	004	カスタマーズサービス社員	
	006	事務(受発信業務)	充足
	018	事務(受発信業務)	充足
大同生命保険株式会社	017	事務	
株式会社ダイエー	022	生鮮食品部門の販売、調理	
日本生命保険相互会社	021	労務職員	充足
株式会社日本旅行	016	営業・契約社員	
株式会社日本システムディベロップメント	015	寮清掃員	
株式会社損害保険ジャパン	001	業務嘱託	充足
株式会社豊田自動織機	008	オペレーター	
西日本電信電話株式会社	012	ソリューション営業	
阪神高速道路公団	014	清掃監督補助業務	

人間を主役にした人材雇用開発

C-STEP ニュース No.11



発行人/ 松本 隆
発行所/ 社団法人 おおさか人材雇用開発センター
〒556-0027 大阪市浪速区木津川2丁目3番8号
[A'ワーク創造館]内
tel.06-6567-6868 fax.06-6567-6886

URL(ホームページ) <http://www.c-step.or.jp>

人材スキルアップ コース11名修了

■ 職場実習 申込企業

企業名
株式会社IMAGICAウエスト
株式会社大津コーポレーション
関西国際空港株式会社
関西電力株式会社
京阪電気鉄道株式会社
光洋精工株式会社
JFE継手株式会社
住友電気工業株式会社
財団法人聖バルナバ病院
大和ハウス工業株式会社
日本生命保険相互会社
宮崎鉄工株式会社
株式会社雪印アグセス

■ 職場実習 実施企業

企業名
イオン株式会社
オムロン株式会社
グンゼ株式会社
積水ハウス株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社ダイエー
田辺製薬株式会社
株式会社日産サティオ大阪
株式会社モリタ

■ 実務講座企業見学実施企業

企業名
安治川鉄工株式会社
株式会社資生堂
関西ペイント株式会社
住友金属物流株式会社

■ 企画協力(損害保険加入)企業

企業名
ニッセイ同和損害保険株式会社

今年度、人材養成事業の大きな柱として位置づけました「人材スキルアップコース」のスキルアップ講座が10月24日に終了しました。スキルアップ講座とは、連続した講座を通して、モチベーションの向上と職業人としての心構えやマナーを習得し、就職へのステップアップを図ることを目的とした事業です。9月29日に開講式を行い、約2週間の実務講座(座学)と約2週間の職場実習(職場内OJT)を行いました。

11名の受講修了者のうち現在、C-STEPの会員企業へ就職した方は3名になりました。また、他の8名の方々も最大の目的である雇用・就労の実現のために日々研鑽されています。

今回は、会員企業のうち大阪同和・人権問題企業連絡会加盟会社のご協力で事業をスタートしました。次回以降は、全ての会員の皆様のご協力をお願いし講座の充実を図っていきたく存じますので宜しくお願いします。



求人(雇用)情報 カードの受理 ケース会議は随時開催

今年度の企業からの求人(雇用)情報カードの提出は、11月25日現在で20件となっています(左記)。具体的な取り扱い状況としては、就職決定した「充足」が9件、現在「対応中」は7件、ミスマッチ等による「対象無し(失効)」が4件という結果になっています。

C-STEPの求人(雇用)情報カードは、C-STEP会員企業の雇用を前提とした情報として大阪府をはじめ各市町村で実施されている地域就労支援事業の相談対象者にとって、受験の機会、

就労への門戸となっています。現在、これらの取組みをより具体的に、また明確に情報提供できる場を創るため、会員企業からの求人(雇用)情報カードの提示段階で、「就業体験会」と称した人材養成事業として説明会等のプログラムづくりをC-STEP事務局との受理ケース会議において相談・調整させて頂いております。

受理ケース会議は、会員企業のみならず、からの相談、問い合わせにより、随時開催させて頂きます。

「ひゅーまんキャリア」の活用に基づく 多様な就労の機会をめざし

会員企業や市町村等に向けて発信しました「ひゅーまんキャリア」(求職登録者情報)は、就職をめざす就労支援対象者230名の情報を加工したデータベースを基に作成した情報誌紙です。会員企業の雇用に向けた社内検討材料として、また、市町村会員においては、地域就労支援関連事業での就労支援相談事業誘導等で活用していただく冊子です。これらの情報は、C-STEPのホームページ(会員専用の求人求職Web検索システム)でも掲載させて頂いております。また、今回の作成成分では、10月に実施しました人材スキルアップコース



2003年度 第3回 理事会開催

さる10月27日(月)、Aワーク創造館2階研修室にて理事・監事19名の出席のもと(欠席者は理事7名・委任状提出)、2003年度第3回C-STEP理事会が開催されました。冒頭、松本理事長の挨拶のあと、議事録署名

「第2期評価・顕彰システム導入検討委員会」の立ち上げについて当センター小頭専務理事から趣旨説明がなされるとともに、引き続き「会員拡大に向けた部会」の立ち上げについて堀之内理事から趣旨説明がなされました。

人として上田博理事、木家正幸理事の2名が指名選任されました。議案としては、この度新たに大阪市から求人情報活性化事業のために、当センターへ事業委託の申し出があったため、「2003年度緊急地域雇用創出特別基金事業特別会計収支補正予算書案」が提案され、全会一致で承認されました。

さらに、当センター満園から協議事項として、「2003年度上半期の入会状況」の説明と、「職員の人事案件」として、2名の採用と1名の退職の説明がありました。これらについても、全会一致で承認されました。最後に、報告事項として人材スキルアップコース、雇用問題研究会、地域仕事づくりフェア、予算の執行状況について満園から説明があり、引き続き、地域就労支援事業については、大阪府商工労働部の森参事と大阪市民局松浦課長から説明がありました。また、さつ、大阪市民局松浦課長から、大阪府雇用施策推進プランの説明がなされました。

「地域就労支援事業」の実効性を高める「Live Work事業」の実施(2カ年間)

今回は、C-STEPニュース第7号で取り上げました平成15年度の地域就労支援事業関連の新規事業の進捗状況について紹介します。大阪府では、平成14年

度より、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者等の中で、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因を抱え、雇用・就労を実現できない就職困難者等を支援するため、地域の関係機関との連携のもと、雇用・就労につながる各種支援を実施する市町村に対し、「地域就労支援事業」として事業補助しています。この事業を真に地域に根付いたものとし、その実効性を高めていくために、大阪府では「Live Work(ライブワーク)事業」として、平成15年度から2年間の取組みとして、①この事業の中心となる地域就労支援コーディネーターの指導・育成を図る「スーパーバイザー」の設置や、②就職困難者等のNPO・福祉事業所等での雇用拡大を図るため、NPO等の受注可能な業務を広く企業等に紹介する「アウトソーシングマッチングフェア(地域仕事づくりフェア)」の開催、さらには、③C-STEP人材開発システム登録者の中で、特に民間での教育訓練が必要と認められた者に対する「チャレンジ自己開発奨励金」の給付という三本柱の事業を展開してまいります。この中で、①のスーパーバイザー設置・運営事業として、府内で活躍されているコーディネーターのスキルアップという観点から、11月12日に座学としての「研修会」が初めて実施され、就労支援相談カード・サポートプランの記載方法やエリア別の経験交流会が実施され、活発な意見交換がなされました。今年度中に、計3回実施の予定となっております。

もう一つのコーディネーターのスキルアップ手法として、フィールドワーク的な「就職面談会」を実施してまいります。これは、府内7ブロックにおいて一定のノウハウをもった市町村と府が共催で就職面談会を実施し、隣接する市町村の職員やコーディネーターがノウハウを習得するということです。11月27日には羽曳野市で第一弾が開催されました。その概況については次号以降でお知らせいたします。

第2期「評価・顕彰システム」導入 検討委員会」の立ち上げ

評価・顕彰システム導入検討委員会は、同問題の解決や就職困難者の就労支援に取り組む会員企業が社会貢献企業として

日の通常総会において94社の会員企業(団体へ大阪府知事、大阪市長から感謝状が贈呈されました。本年度は、第2期として、これからの評価をどうするのかを御検討いただくために、さる10月30日にAワーク創造館2階会議室において、委員を一新して開催されました。水町氏が委員長となり、事務局から過去21年間の取り組みの説明のあと、質疑に入



C-STEP評価・顕彰システム導入検討委員会(第2期)委員名簿

委員	氏名	所属及び役職等
委員長	水町 繁	イオン株式会社 西日本カンパニー人権啓発室長
委員	大東 清人	コクヨ株式会社 人事部特別参事
委員	藤原 謙司	シャープ株式会社 人事部人事部採用担当係長
委員	黒田 悦郎	西日本電信電話株式会社 人事部人権啓発室担当課長
委員	内海 義春	日本生命保険相互会社 人事部専門部長
委員	森 和男	大阪府商工労働部雇用推進室雇用対策課参事
委員	松浦 隆行	大阪市民局雇用・勤労施策室就労支援担当課長
委員	小頭 芳明	(社) おおさか人材雇用開発人権センター専務理事

◎お知らせ◎
年末年始の業務について
 C-STEPの年末年始の業務は次のとおりです。よろしくお祈りします。
 年末:12月26日(金)まで
 年始:1月5日(月)から通常どおり

大阪市雇用推進プラン 対象別の就職セミナーを開催

大阪市では、厳しい雇用情勢に対応し、市の実情に適した雇用施策を推進するため、「大阪市雇用推進プラン(基本計画)」を策定し、そのプランのなかで、様々な就労支援のための具体的な計画事業を挙げています。今回、若年者の就労支援事業として「若年者のための就職支援セミナー」のための就職支援セミナーを開催します。この事業は、若年者に、会社の仕組みや職種について知ってもらい、次に自己分析と職業適性診断により、自分がどのような職業に向いているかどうかを確認してもらった後、応募書類の書き方や、面接の受け方を練習して、自信をもって就職活動ができるよう支援するものです。また、中高年齢者対象の「中高年齢者のための就職支援セミナー」を開催し、再就職の現状を踏まえながら、他人の就職活動の経験談を聞くことにより自己の活動内容

をふりかえってもらい、自身の能力・キャリアを客観的にとらえてもらった後、それを踏まえた面接でのアピール方法などを習得してもらい、これからの就職活動に活かしてもらう事業です。申し込み等詳細は、次のとおりです。

- 1「若年者のための就職支援セミナー」
 ・日時/2004年1月22日(木)10:00~16:00
 ・対象/市内在住の30歳未満の求職者
 - 2「中高年齢者のための就職支援セミナー」
 ・日時/2004年1月29日(木)10:00~16:00
 ・対象/市内在住の45歳以上の求職者
- 会場/1・2両セミナーとも、アピオ大阪(大阪市立労働会館)会議室 大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5
 - 定員/各セミナー20名(多数の場合は抽選。結果は電話により連絡)
 - 費用/無料
 - 申込方法/事前に電話予約
 - 締め切り/各開催日の前々日
- お申込み・お問い合わせ先「しごと情報ひろば」
 電話/06-6941-4510